

事務事業名	大吉田地区農地整備事業(経営体育成型)負担金	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	土地改良G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(36)農業の振興	担当者名	菅澤 直樹	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2402
	基本事業名	(107)農業基盤の整備	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	土地改良事業	
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。	項 目 中事業 中事業名	経営体育成型基盤整備事業 負担金	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 25 年度 ~ 33 年度 )
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) ■事業名:経営体育成型基盤整備事業 ■地区名:雲南市吉田町大吉田地内 ■工 種:ほ場整備工事 ■経 過 ①H25~H26 地形図作成、概略設計 土地改良法手続き ②H27...実施設計・換地原案作成 ③H28...基盤整備工事実施 ④H29...基盤整備工事実施 ⑤H30~H31 基盤整備工事実施 埋蔵文化財調査 ⑥H32...基盤整備工事 確定測量・換地処分 ⑦H33...事業完了予定

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) ①県及び関係受益者との協議・調整 ②負担金の支払	29年度計画(29年度に計画する主な活動) ①県と関係機関、受益者との協議・調整(基盤整備工事、埋蔵文化財等) ②負担金の支払			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 協議回数	回	7	12	16	12
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	①受益農地 ②ほ場整備の受益者	ア 受益面積	ha	26	26	26	26
		イ 法人化検討委員会	組織	1	1	0	0
		ウ トリムファーム大吉田	組織	0	0	1	1
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	①区画整理及び用排水路改良 暗渠排水整備 ②農業生産法人化の設立	ア 事業進捗率	%	10.0	16.0	50.3	59.0
イ 法人化検討委員会		組織	1	1	0	0	
ウ トリムファーム大吉田		組織	0	0	1	1	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
県営ほ場整備事業に対する負担金 市負担額は事業費の10% 平成28年度 負担金額:31,000千円(過疎)	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	400	3,500	31,000	20,000
		その他	千円				
		一般財源	千円	99			
	事業費計 (A)		千円	499	3,500	31,000	20,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	20	20	200	
		人件費計 (B)	千円	78	78	793	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	577	3,578	31,793	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成26年度より中山間地域では、10ha以上の取組が可能となり、事業実施要件が緩和された。	なし。	事業制度のハードルが年々上がり、取り組む事が厳しい。

事務事業名	大吉田地区農地整備事業(経営体育成型)負担金	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	県営事業負担金である。県・関係受益者の調整をすることで、よりスムーズな事業進行に寄与することはできる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	県営事業負担金である。農業基盤整備に併せ、法人設立ができる。類似事業はない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	県営事業負担金であり、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	国への採択申請段階から費用対効果を十分精査され、事業採択されている。	
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	県・地元との調整を行う必要があり、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	事業実施に伴い、関係受益者の負担金も必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 負担金事業であることから、事業に直接携わるわけではないが、県と関係受益者との協議調整を行う事業である。事業を順調に進めるためには、担当職員数を増加する等の必要がある。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。																								
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																								